

クリスティーズ 2021年売上は堅調な伸び

総売上 約 71 億ドル (約 8,041 億円)

過去 5 年の売上げ最高額を達成

2021 年落札最高価格記録を保持

プライベートセールも記録的な売上高

NFT 作品の売上 約 1 億 5,000 万ドル (約 170 億円)



オークションで落札されるパブロ・ピカソの《窓辺に座る女(マリー・テレーズ)》

1億341万ドル (約113 億円) で2021年のオークション落札最高額を記録 2021年5月ニューヨーク

クリスティーズCEOのギヨーム・セルッティのコメント：

2021 年はおかげさまで素晴らしい成果を残すことができました。オークション、そしてプライベートセールはもちろん、特に NFT など新しいセーフォーマットやカテゴリーにおいて躍進的な成果を残すことができました。新進の、またはこれまで過小に評価されてきたアーティストの作品に光をあて、若い新たな顧客層の関心を集めることができました。さらに、アジア地域への投資、そして 2030 年までのカーボン・ネット・ゼロ達成への決意や、会社としてより公平で多様な側面を構築・維持していくことなど重要課題においても大きな進展を遂げることができました。2022 年も引き続き、成長、革新そして責任を最重要目標として取り組んでまいります。

2021 年クリスティーズの主要トピックス

1. 2021 年の総売上高 約 71 億ドル (約 8,041 億円)

- 2020 年比 54%増、2019 年比 22%増 と大きく回復傾向
- 過去 5 年間で最高売上高。コロナ禍以前のレベル以上
- 内訳： オークション (ライブ&オンライン)：約 54 億ドル (約 6,116 億円)
プライベートセール：約 17 億ドル (約 1,925 億円)
- グローバルオークション売上の地域別内訳：アメリカ 35%、EMEA 34%、アジア 31%

2. オークションで記録的な落札率と最高落札記録更新

- 全オークションの平均落札率は 87%と幅広い需要に応える当社の力量を示しています。
- 2021 年のオークション落札記録の上位 2 作品の記録をクリスティーズが達成：
(1) ピカソの《窓辺に座る女(マリー・テレーズ)》1 億 341 万ドル (約 113 億円)
2021 年に 1 億ドル以上を達成した唯一の作品
(2) バスキアの《In This Case》9,310 万ドル(約 102 億円)
- その他の記録
 - オークションにおける美術館による落札としての最高落札記録：
カイユボット《窓辺の青年》5,300 万ドル (約 60 億円) (11 月 NY)
 - チャリティを目的とするオークションの最高落札記録：
バンクシー《ゲームチェンジャー》1,676 万ポンド (約 26 億円) (6 月 London)
 - 存命女性作家の作品としてのオークション最高落札記録：
草間彌生《Pumpkin(LPASG)》6,254 万香港ドル (約 9 億円) (12 月香港)

3. NFT の出品で先陣を切るクリスティーズ

- 大手オークション会社として史上初めて NFT を出品し優れた結果を達成：
 - Beeple の《Everydays》が約 6,900 万ドル (約 75 億円) (3 月 NY)
- 2021 年に 100 点以上の NFT を販売。売上高は約 1 億 5,000 万ドル (約 170 億円)
- NFT の買い手の 75%が新規顧客。平均年齢は 42 歳

4. オンラインオークションの売上も増加傾向

- オンラインの落札総額 4 億 4,500 万ドル(約 504 億円)。43%増を記録
- 1 ロットあたりの平均価格は 2 万 3,400 ドル(約 265 万円)、2016 年は 6,100 ドル (約 69 万円)
- クリスティーズの全オークションの約半数がオンラインオークション

5. プライベートセールも記録的な売り上げを達成

- プライベートセールの売上総額は約 17 億ドル(約 1,925 億円)
 - 2020 年比 12%増、2019 年比 108%増
- プライベートセールで 5 千万ドル (約 57 億円) を上回る価格で 4 点の作品が売却

6. アジアバイヤーの勢いが増す

- アジアのバイヤーによる落札総額は約16億8,000万ドル（約1,903億円）2019年比32%増
- 世界各地のオークション会場でのアジアのバイヤーの購入割合は上半期 39%、年間では全体の 31%を占めた
- 香港の 2021 年総売上は約10億3,000万ドル（約1,167億円）。特に秋季は記録的に高い結果を達成
- 新たなアジア地区本社：クリスティーズ香港は 2024 年に香港で完成するザハ・ハディード建築事務所の設計による「The Henderson」にアジア地区本社を移転開設。
- クリスティーズ上海は 2022 年春に BUND ONE に移転し、2022 年 3 月にオープン記念オークションを開催予定

7. 新規および若いミレニアル世代の顧客の獲得

- 2021 年のクリスティーズでの買い手の 35%は新規顧客。内 2/3 はオンラインオークションから参入
- 新規顧客の 32%がミレニアル世代
- ラグジュアリー部門が 32%と新規顧客の集客に大きな役割を果たしている

8. 未来へ続く道を切り開く

- 公平性、多様性及び受容性へのイニシアティブ： クリスティーズは今年、特に 20/21 世紀アートオークションについて、出品内容の多様性に配慮することに注力してまいりました。このカテゴリーでは新たに 66 の女性作家の記録、また 47 の BIPOC の作家の記録を樹立しています。また、多様な作家の作品を扱う組織とパートナーシップを組んで活動してまいりました。
- サステナビリティ： クリスティーズは 2030 年までにカーボン・ネット・ゼロを公約に掲げ、また温室効果ガス 50%削減目標について Science Based Target Initiative (SBTi) による認証を受けた最初の国際的なオークションハウスです。
- 主な役員任命： クリスティーズ・アメリカ社長にボニー・ブレナン、クリスティーズ・チャイナ会長にレベッカ・ヤングを任命

クリスティーズ 2021 年 年間ハイライト

カテゴリー別売上高

2021 年グローバルセールス

オークション（ライブとオンライン）及びプライベートセールを含むカテゴリー別売上：

- 20/21 世紀アート部門（印象派美術・近代美術・戦後の美術・コンテンポラリーアート・デザイン・版画・写真）約 50 億 5,000 万ドル/ 約 5,720 億円（2020 年比 57%増）
- ラグジュアリー部門（宝石・時計・ハンドバック・ワイン）約 9 億 8,000 万ドル/約 1,110 億円（2020 年比 153%増）
- クラシック部門（オールドマスター絵画・ロシア美術・イコン・古代美術・装飾美術）約 5 億 7,000 万ドル/約 646 億円（2020 年比 62%増）
- アジアおよびワールドアート部門（アジア美術・アフリカ美術・オセアニア美術・イスラム美術）約 5 億ドル/ 約 566 億円（2020 年比 56%増）

マスターピース

2021 年にオークション最高額を記録した作品、上位 2 点がクリスティーズで出品されました。5 月にニューヨークで開催された 20/21 世紀アートセールのハイライト作品で、パブロ・ピカソの《窓辺に座る女(マリー・テレーズ)》が 1 億 340 万ドル（約 113 億円）、そしてバスキアの《In This Case》が 9,310 万ドル（約 102 億円）で落札されました。

11 月のニューヨークでは、印象派の優れたプライベートコレクションの一つとして高く評され、ゴッホの晩年の作品 3 点を含む「コックス・コレクション」が落札率 100%を達成、落札総額は 3 億 3,203 万 1,500 ドル（約 376 億円）に上りました。

コックス・コレクションのギュスタフ・カイユボットの《窓辺の青年》はロサンゼルス J. ポール・Getty 美術館が 5,300 万ドル（約 60 億円）で落札し、2021 年の美術館による落札としての最高額を記録しました。

6 月、7 月はロンドンのオールドマスター絵画部門で記録が続々更新されました。ベルナルド・ベロットの《View of Verona with the Ponte delle Navi（ナヴィ橋とヴェローナの眺め）》が 1,057 万 5,000 ポンド（約 16 億円）で世界記録を更新。そしてレオナルド・ダ・ヴィンチの《クマの頭部》が 885 万 7,500 ポンド（約 14 億円）でダ・ヴィンチの素描画としての世界新記録を樹立しました。

11 月のパリセールでは、ジャン・シメオン・シャルダンの《La Fontaine》が作家新記録となる 711 万ユーロ（約 9 億円）で落札。5 月香港では張大千《Temple at the Mountain Peak》が 2 億 910 万香港ドル（約 29 億円）で落札されました。

プライベートセール

プライベートセールは規模、価格そしてそのバリエーションも大きく広がり、マーケットが好調なメインセールの時期にも、あらゆるカテゴリーの作品が積極的に取引されています。2021年のプライベートセールによる売上総額は17億ドル（約1,925億円）で、2019年比108%増となりました。500～1,000万ドルの価格帯の作品では、取引数が前年の倍に上り、プライベートセールの買い手は2019年比で42%増となりました。その60%がオークションにも参加されています。クリスティーズはパーム・ビーチ、サウスハンプトン、アスペン、モンテカルロ、など世界各地のコレクターが集まる拠点およびオンラインでもポップ・アップ・プログラムを開催。夏にはchristies.comで恒例の彫刻展「Dream Big」を開催しています。

NFT非代替性トークン

クリスティーズは2021年に世界で初めてオークションでNFT作品を売却し、この新たなカテゴリーが未来のグローバルマーケットの礎を築きました。NFTの売上は2021のクリスティーズ、コンテンポラリーアート部門の総売上の8%を占めています。

2021年にクリスティーズで落札されたNFT作品100点の売上総額は約1億5,000万ドル（約170億円）にのぼり、3月にBeepleの《Everydays》が約6,900万ドル（約75億円）の快挙を達成しました。Larva Labs（ラルバ・ラボ）の「Cryptopunks」（約1,700万ドル/約18.6億円）そしてFEWOCiOUSのデジタルアート（約216万ドル/約2.4億円）が新規の若いコレクターを惹きつけ、結果として新規顧客が74%を占めました。

10月にクリスティーズ・ロンドンで初のNFT出品が行われ、11月にはBeepleの《HUMAN ONE》ハイブリットNFT彫刻が出品、2,898万5,000ドル（約33億円）で落札。そのほかのNFTのハイライトとして、アンディ・ウォーホル美術財団、グッチ、そしてプレミアムフィギュア等を制作するSUPERPLASTICともコラボレーションを行いました。アジアで初のNFTオンラインオークション「No Time Like the Present」が9月にクリスティーズ主催で開催され、落札総額1億2,200万香港ドル（約18億円）を達成。さらに10月にはニューヨークで初めて仮想通貨イーサリアム（ETH）建てでのライブオークション「Post-War to Present」が開催されました。また、12月にクリスティーズはOpenSeaのプラットフォームでオンチェーンのNFTオークションを開催し、350万ドル（約4億円）の売上を記録しました。

ラグジュアリー部門（ジュエリー、時計、ハンドバック、ワイン）

ラグジュアリー部門のオークションおよびプライベートセールの売上総額は約10億ドル（約1,133億円）に上り、ここ数年までの傾向が変わり大きな回復を示しました。オークションの売上高は約7億3,610万ドル（約834億円）で、2020年比で73%増を記録。プライベートセールの売上は特に伸び、2021年は、2019年の総額の2倍に達しました。またオンラインオークションの売上も、2019年は全体の5%でしたが、2021年には21%を占めるにまで拡大。ラグジュアリー部門のオンラインオークションでの1ロットあたりの平均価格は2019年の3倍を超える水準（4,500ポンドから14,200ポンド）になりました。

ジュエリー： 香港で約 2.3 億香港ドル(約 32 億円)と記録的な落札価格となったサクラ・ダイヤモンド (15 カラットでオークション史上最大のパープル・ピンク・ダイヤ) を筆頭に、ジュネーブではマリ・アントワネットのダイヤモンド・ブレスレットがエスティメート下値の 3 倍となる、746 万スイスフラン (約 9.2 億円) で落札。オンラインでもジュエリーの需要は急拡大し、2019 年から今年までに、オンラインでの落札点数は 101%増となりました。

時計： 2021 年は時計部門にとって、記録的な年となりました。売上総額は 2020 年比で 157%増の約 2 億 510 万ドル (約 232 億円) を達成。ドバイ・オンラインオークションでは時計の落札記録が 159 万ドル (約 1.7 億円) で更新されるなど、ニュースが続きました。11 月に開催されたジュネーブオークションは落札率 100%で、なかでも 189 万スイスフラン (約 2.3 億円) で落札されたロレックスのデュープシー・スペシャル No.1 が注目を集めました。また、同じく 11 月にジュネーブで開催されたチャリティー・オンラインオークション「ONLY WATCH」への入札および視聴者は計 800 名にのぼり、950 万スイスフラン (約 12 億円) で落札されたパテックフィリップの置時計を含む、53 ロットの落札総額は 3,000 万スイスフラン (約 37 億円) となりました。

ハンドバック： エルメス製のヒマラヤダイヤモンドケリー28 が 400 万香港ドル (約 5,800 万円) でオークションの落札記録を更新しました。

ワイン： 部門全体のロットベースの落札率は堅調で 93.6% を達成。100%落札となったセールも数多く、12 月にはクリスティーズ・ロンドン、キングストリート会場で過去最大規模のワインオークションが開催されました。

その他： マイケル・ジョーダンが試合で着用したサイン入りのスニーカー、ナイキ・エア・ジョーダンが 37 万 5,000 ドル (約 4,250 万円) で、また SUPREME ブランドのピンボールマシンが 52,000 ドル (約 590 万円) で落札となりました。

地域別売上高

アメリカ大陸

- アメリカにおける 2021 年のオークション (ライブ&オンライン) 落札総額は 26 億 1,000 万ドル (約 2,956 億円) で 2020 年の 92%増となり、グローバルセールの 35% を占めています。

クリスティーズ・アメリカの 2021 年のハイライトは、春と秋に開催された 20/21 世紀アートオークションシリーズです。新たなセールカテゴリーの編成により、顧客のテイストにあった多様なアーティストの作品を取り上げ、大成功を収めました。

春季の 20/21 世紀アートウィークの落札総額は 7 億 7,500 万ドル (約 847 億円)、新た

に 24 のオークション記録を打ち立てました。さらに秋季は 62 のオークション記録、落札総額は 10 億ドル（約 1,133 億円）超に達しました。

また 2021 年には印象派の「コックス・コレクション」、「Image World」と題された現代美術の個人コレクション、そして美容界の大御所「シデル・ミラー・コレクション」まで、様々な分野のシングルオーナー・コレクションのセールが卓越した成績を収めました。

クリスティーズ・アメリカでは新たなハイブリッド形式のセールルームが登場し、最先端技術により世界各地のセール会場を映し出し、オークションのバーチャル体験を可能にしました。アメリカにおけるラグジュアリー部門の売上も 1 億 5,500 万ドル（約 176 億円）超と、引き続き堅調で、2020 年の 30%増となりました。また、クリスティーズ・アメリカでは管理職に BIPOC を含む女性の起用を増加、社内の様々なレベルでの多様性とリプレゼンテーションに重点を置いています。オークショニアについても男女の割合を半々に維持。「Say it Loud」などの展覧会開催を通じて黒人のキュレーター及びアーティストの表現の場を設けています。ニューヨーク会場では、ニューヨーク・エイズ・メモリアルファンドなどの慈善事業に 5,000 万ドル（約 57 億円）の売り上げを寄付いたしました。

欧州、中東およびアフリカ（EMEA）

- 2021 年のオークション（ライブ&オンライン）の売上総額は約 17.6 億ドル（約 1,993 億円）2020 年比 63%増。EMEA 地域の売上の大部分はロンドンとパリが占めています。

ロンドン（約 9 億 8,000 万ドル/約 1,110 億円）、パリ（約 4 億 9,400 万ドル/約 560 億円）では 2020 年比、88%増、2019 年比では 63%増（ユーロ建て）、クリスティーズ・フランス史上 2 番目に高い売上総額で、2009 年以来最高額となりました。

- EMEA 地域の 2021 年の購入総額はクリスティーズグローバル売上の 34%。

ロンドンの 2021 年のハイライトは、英国の医療機関を支援する目的で出品されたバンクシーの《Game Changer》です。この作品は 1,675 万 8,000 ポンド（約 26 億円）で落札され、チャリティーの出品作品としての今年の最高額を記録しました。

このほか、ロンドンに出品されて今年話題となったコレクションは：ハリー・ウルフのファベルジェ・コレクション； ヴィクトリア・レディ・ド・ロスチャイルドのコレクション； ヘンリー・フォード 2 世夫人のコレクション； B.J.イーストウッドのスポーツリング及びアイルランド絵画コレクションは 30 ロットの落札総額が 1,400 万ポンド（約 22 億円）に達しました。またロジャー・フェデラーのチャリティーオークションの落札総額は 340 万ポンド（約 5.3 億円）でした。

クリスティーズ・ロンドンでは10月に開催された「1-54 Contemporary African Art Fair」の展示期間中にオンライン展示も主催。またクリスティーズはこのフェアに出展し、ヨーロッパで初めてアフリカの作家によるNFTアートをオークションに出品しました。

フランスでは、2021年に開催されたオークション回数(54回 2020年比20%増、2019年比38%増)がパリ会場のグローバルリーチの拡大を物語っています。合計62のオークション世界記録の達成、24の個人コレクション、計7,340ロットもの作品が出品されました。フランスのアートマーケットにおける2021年のトップロットは、Francis Gross コレクションからのマグリット《La Vengeance》で1,450万ユーロ（約19.3億円）で落札されました。

「ミシェル・ペリネ・コレクション」が落札総額6,600万ユーロ（約88億円）でアフリカおよびオセアニア美術分野のオークションとして世界記録を更新しました。これは過去10年間にクリスティーズ・フランスで開催されたオークションの落札総額としても最高額となりました。また、大きな話題を呼んだアインシュタインとベッソによる直筆メモは1,160万ユーロ（約15億円）で落札となりました。

モダンデザインの分野では「La Maison de Verre」コレクションが1,520万ユーロ（約20億円）、ダニエル・ルバール・コレクションが3,160万ユーロ（約41億円）の売上となり、カテゴリー総売上は7,350万ユーロ（約94億円）を記録。

2021年にクリスティーズ・フランスで出品となったロットの50%がオンライン・ビッドによる落札となっています。

アジア・太平洋地域

- 2021年のオークション（ライブ&オンライン）の売上総額は10億3,000万ドル（約1,167億円）で2020年比59%増
- アジアのバイヤーの購入総額はクリスティーズグローバル売上の31%を占め、特に5月、11月にニューヨークで開催されたイブニングセールにおいてアジア購買力が目を引きました。

アジアでの2021年のハイライト

香港のセールルームが単独で記録的落札総額81億香港ドル（約1,177億円）を達成。特に秋季は、落札率90%で、クリスティーズ・アジア史上最高記録となる総額38億香港ドル（約552億円）に達し、アジア市場の強靱さを示しました。3月にロンドンから香港にライブでつながれたオークションではバスキアの《戦士》が約3.2億香港ドル（約45億円）で落札され、アジアで落札された西洋作品としての最高額を記録しました。

12月に開催された4つのオークションはライブ中継で180万人もの視聴者が見守るなか、落札総額約20億香港ドル（約292億円）を達成し、クリスティーズ・アジアで開催された20/21世紀アート部門の落札総額の記録を更新しました。

またプライベートセールの成立取引数も、香港および上海で20/21世紀アートとラグ

ジュアリー部門の展示会開催後、顕著に増加しました。

クリスティーズは上海アートウィークを祝し、初めて上海の中国国際輸入博覧会でバスキアの作品 11 点の展示【Radiance: The Basquiat Show】を行いました。

クリスティーズはアジア地区本社を 2024 年に香港セントラルに完成予定の超高層タワー「The Henderson」に移転することを発表しています。ザハ・ハディード建築事務所による象徴的で且つ、環境的にも持続可能なコンセプトを盛り込んだ設計になっており、クリスティーズはアジアでも通年でオークションを開催できるセールルームと最先端のギャラリースペースを確保することになります。

クリスティーズ上海のオフィスもこの春に BUND ONE に移転が決まっており、今年 3 月にはロンドンと共催で第 1 回上海オークションが開催されます。

責任ある企業文化

● ダイバーシティ & インクルージョン

クリスティーズは一企業として、また取り扱う美術品や作品を通じてより公平で多様な環境維持に努めます。2021 年、女性アーティストの記録は 66 点、また BIPOC アーティストについては 47 の記録が樹立されました。

ロンドンで 10 月に開催されたプライベートセール展示会「Bold Black British」では 1980 年代から現在までに活躍する黒人の英国人アーティストの作品を一堂に会し、また、現代アフリカアートを展示する 1-54 Contemporary African Art Fair とも協力を継続しており、クリスティーズのギャラリースペースや christies.com のオンラインプラットフォームで新進のアーティストの作品を展示するなどのサポートを行っています。5 月に新たに組織された 20/21 世紀アート部門、そしてそのイブニングセールフォーマットはこれまで正當に評価されていなかった作家のためのプラットフォームとしての役割を担ってまいります。20/21 世紀アートのカテゴリーの各セールルームのオークションアチームの男女比は、イブニングセールも含め半々となっております。

● サステナビリティ

2021 年 3 月、クリスティーズは 2030 年までにカーボン・ネット・ゼロを達成することを誓約し、この目標にコミットする最初の国際的なオークションハウスとなりました。クリスティーズは脱炭素化への取り組みを開始しています。例えば、出版物印刷からの排出量を 78%削減し、世界中のクリスティーズの拠点の半数を再生可能エネルギーに移行して参ります。12 月にはオークションハウスとしては初めて企業の温室効果ガス削減目標を独自の厳しい基準で評価・承認する国際的な連合組織 Science Based Targets Initiative (SBTi)の承認を受けました。

2021 年にクリスティーズは慈善事業の一環としてグローバル規模でチャリティオークションを開催し、賛同する著名なコンテンポラリーアーティストより寄贈された作品の売上を環境保護団体「クライアント・アース」に寄付しました。Gallery Climate

Coalition と共同で現在までに寄付金は 610 万ドル（約 6.9 億円）に達し、2022 年にも 2 度の開催を予定しています。

* 落札価格は買い手手数料を含む。

* 日本円は参考価格 （春季 US\$1= ¥ 109.23 / HK\$1= ¥ 14.06 / £ 1= ¥ 155.60/ EUR1= ¥ 133.3/ CHF1= 121.91)

（秋季 US\$1= ¥ 113.26 / HK\$1= ¥ 14.53 / £ 1= ¥ 150.62 / EUR1= ¥ 128.29/ CHF1= 123.111)

プレス用画像のダウンロードは [こちら](#) | 2021 ハイライトビデオの視聴は [こちら](#)

お問合せ：株式会社 クリスティーズ ジャパン

広報担当 佐藤 星沙 ssato@christies.com

TEL: 03-6267-1766 FAX: 03-6267-1767